

水虫とお薬について

水虫は私たちにとって身近な病気の1つであり、5人に1人がかかっているといわれています。今回はそんな水虫についてのお話です。



●水虫とは？

そもそも、水虫とはどんな病気なのでしょうか。医学的な正式名称は「白癬」といい、白癬菌というカビの仲間が足などに感染して起こります。白癬菌は皮膚の表面に含まれるケラチンというタンパク質を栄養源とするため、白癬菌が皮膚に長期間付着し、なおかつ高温多湿の適した環境条件が揃うと増殖を始めます。すると、いわゆる水虫の症状が出てくるのです。

そのため、あらゆる場所の皮膚に感染することが知られていますが、その中でも特に足に感染するものを俗称として水虫と呼ぶようです。

●症状や特徴は？

- ・足白癬：足の皮膚への感染で生じ、大きく3つに分類されます。

〈趾間型〉

足の指の間は湿度が高いため白癬菌が増殖しやすい部位です。そのため最も多くみられるタイプです。赤みが出たり、皮が白くふやけ、皮膚がむけたりします。かゆみが出る場合もあります。

〈小水疱型〉

足の指の間からさらに感染部位が広がるとこのタイプになります。足の裏や縁に小さな水ぶくれができ、時にかゆみを伴います。

〈角質増殖型〉

足の裏やかかとの皮膚が厚く硬くなり、皮がむけたりひび割れが起きます。

- ・爪白癬：爪に感染している状態で、爪が白く濁ったり、分厚くもろく変形したりします。足白癬から足の爪白癬に発展する場合があります。

●治療に使うお薬

原因である白癬菌を減らすために抗真菌剤を使い、その部位や症状によって使う剤形が異なります。どのタイプの剤形を使う場合でも、重要なのは、症状がなくなったからといって自己判断でお薬を使うのをやめず、医師の指示があるまで続けることです。

- ・クリーム（軟膏の場合もあり）

足白癬ではほとんどの場合で使用します。しかし、爪には浸透しないので爪白癬には使用しません。



☆塗り方のポイント☆

- ・使う前は手と塗る部位を清潔に
- ・必ず毎日決められた回数塗りましょう
- ・症状のある部分よりも広範囲に（理想は足の裏全体に）

・飲み薬

角質増殖型の足白癬や、爪白癬に使用します。定期的に血液検査を行います。他のお薬との飲み合わせに注意が必要な場合があります。

・爪外用液

爪白癬で、飲み薬が使えない場合に使用することが多いです。感染している爪がすべて生え変わるまで、1年～1年半ほど塗り続けます。

●予防するには

白癬菌高温多湿の環境を好むため、その状態を避ければ菌は増殖できず、水虫になるのを防ぐことができます。また、皮膚が傷付くとそこから白癬菌が侵入しやすくなるので、過度な刺激を避けることも予防につながります。

- ・足はよく洗い清潔に保つ

ただし、傷付けないようにやさしく洗い、よく乾燥させましょう。

- ・足の通気性を良くする

通気性の良い靴や靴下を選びましょう。毎日同じ靴を履かないことも効果的です。

- ・足がよく触れるものはこまめに洗濯する

バスマット、靴下、スリッパ等は常に清潔を保ちましょう。同居している家族がいる場合は、家族内感染を防ぐためにこれらを共用しないことも大切です。

～お薬のことでご不明な点やご不安な点がある場合には、医師又は薬剤師までご相談ください。～